

PM資料ガイド

項目	Project Coordinator	Rev.	年月日	作成
	プロジェクト・コーディネーター	- 0	030331	霜田敏雄
対象	一般			
視点	基本解説			

プロジェクト・コーディネーター (Project Coordinator)

コーディネーター (Coordinator) は調整する人と訳される。つまり、プロジェクト・コーディネーターはプロジェクトを調整する人となる。しかし、具体的にはどのような役割になるのか、その役割を定義するのは意外と難しい。別の表現にすると、業務上の隙間を埋める役割と解釈される。プロジェクト・コーディネーターは日本のプロジェクトで多く見られる。何故、プロジェクト・コーディネーターが必要とされるかについて、簡単に述べる。

プロジェクト業務を遂行する際には、まずスコープを明確にして実施すべき業務やタスクを明確にする。つぎにこの業務を担当するメンバーを割り当てる。メンバーがアサインされると、運営をスムーズにするために、プロジェクト組織を編成する。そして、所属する組織の責任範囲・業務範囲を明確にする。各メンバーにおいても職務分担表 (Job Description) を作成し、メンバー全員の職責や業務範囲を明確にしてメンバー全員に認識させる事が原則である。この職務分担表 (Job Description) の目的は、欧米のプロジェクト運営に於いてはいつでも業務の引継ぎを可能とさせるため必須のマニュアルとして利用されている。しかしながら、日本におけるプロジェクト組織は、既存のライン組織を主体としたマトリックス組織が適用されることが多い。マトリックス組織における職務分担表 (Job Description) の明確な運用はかなりの困難を伴う。各部署間の業務は、日本的暗黙了解の下に運営されており、明確な業務区分は実際的には困難である。このような理由で、従来の縦割り組織をベースとした職務分担表 (Job Description) の業務上の隙間を埋める役割として、日本ではプロジェクト・コーディネーターの役割は重要である。

欧米の確立された組織上における業務の職務分担表 (Job Description) では、プロジェクト・コーディネーターは必要としないポジションである。もし、隙間を埋める役割が必要な場合は、プロジェクトマネージャーやエンジニアリングマネージャー等のアシスタントまたはアソシエイトとすべきと思われる。

プロジェクト・コーディネーターのポジションのみを作り、適切な職務分担表 (Job Description) が無い場合は、プロジェクト・コーディネーターの役割はより不明になってくるので注意が必要である。